

2024年8月2日

令和6年度 VOL.20

～夏の花、色とりどり～

ジニア 見頃です

国営ひたち海浜公園の「みはらしの里」では、ジニアが見頃を迎えました。今年は昨年よりも約7千本多い約42万本のジニアを植栽しており、カラフルで見ごたえのある花畑をお楽しみいただけます。ビビットな花畑の西側には昔懐かしい古民家が、反対の東側にはコキアがあり、フォトジェニックな夏のワンシーンを演出しています。



みはらしの里（撮影：2024年8月1日）

◆和名は百日草、長い花期が魅力

ジニアはキク科ヒャクニチソウ属で、メキシコを中心とした南北アメリカ原産の一年草で、属名はドイツ人の植物学者ジン（J.G.Zinn）氏の名前に由来しています。和名の「百日草（ヒャクニチソウ）」は、開花期間が長く同じ株に次々と花を咲かせることに由来し、「浦島草（ウラシマソウ）」や「長久草（チョウキウソウ）」などの別名があります。

【ジニア】

■観賞時期／8月2日～10月上旬頃まで（見頃のピーク：8/2～8/25） ■品種数／1品種5色（ロイヤルミックス）

■本数／約42万本 ■場所／みはらしの里 ■植栽面積／約3,000㎡

◆多様な色彩と華やかな花姿

本公園で植栽している「ロイヤルミックス」は草丈が80cmほどで、花径は約10cmと存在感があり、“赤・白・黄・桃・紫”の夏空を彩るビビットカラーが多いのが魅力です。

カラフルで鮮やかな色彩と、多様な花形が特徴のジニアですが、もとはフランスやアメリカで盛んに品種改良が行われ、現在のように様々な花の色や形のものがつくられました。

◆みはらしの丘ではコキアが成育中

みはらしの里に隣接する「みはらしの丘」では、爽やかなライムグリーンのコキアが生育中。現在、約40cmのコキアが、日を追うごとに“ふわふわ”と丸みを帯びてきました。見頃を迎えたジニアの背景には、昔懐かしい「古民家」や生育中の「コキア」、8月中旬頃に見頃を迎える予想の「ヒマワリ」があるため、SNS映える撮影のバリエーションも豊かです。



ジニア（2024年8月1日撮影）

みはらしの丘を背景にしたジニア
（2024年8月1日撮影）

Information

古民家前では8/10～12の期間
「涼風里まつり」を初開催します。

公園公式SNSもご覧ください お問い合わせ 国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター 広報係 服部・渡邊・マウリダ

TEL:029-265-9001 FAX:029-265-9339

〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4

<https://hitachikaihin.jp>